

ホントに原発が必要ですか？これからのエネルギーを考える上映会

**3/19 (日)** 1回目13:00～(12:30開場)  
2回目15:30～(15:15開場)

鳥取市人権交流プラザ 2F 研修室(鳥取市幸町151番地)

参加費1000円 (高校生以下無料)

駐車場あり



主催：えねみら・とっとり（エネルギーの未来を考える会）問い合わせ先：080-6173-1318  
協力：脱原発しょいや in とっとり / とっとり震災支援連絡協議会



環境問題を原子力発電所の  
運転継続の根拠とすることは  
甚だしい筋違いである。

福井地方裁判所民事第2部  
裁判長裁判官 樋口 英明



# 我が国の原発の耐震性は極めて低い。

原子力発電の危険性を伝えるために人生をかける元裁判長。  
放射能被災で一度はあきらめた農業を太陽光発電とともに蘇らせる福島の人々。  
使命をもった者たちの意思がスクリーンにみなぎる!!

2014年、関西電力大飯原発の運転停止命令を下した樋口英明・福井地裁元裁判長は、定年退官を機に日本のすべての原発に共通する危険性を社会に説く活動をはじめた。それは、原発が日本で頻発する地震に耐えられない構造であることを指摘するシンプルかつ、誰もが分かる揺るぎない“樋口理論”である。

そして、日本中の原発差止訴訟の先頭に立つ弁護士・河合弘之は、この“樋口理論”をもって新たな裁判を開始した。逆襲弁護士の異名をとる河合と元裁判長・樋口がタッグを組んで挑む訴訟の行方はいかに!



一方、被災地福島では放射能汚染によって一度は生業を離れた農業者・近藤恵が農地上で太陽光発電するソーラーシェアリングに農業復活の道を見出す。近藤は、反骨の環境学者・飯田哲也の協力を得て東京ドームの面積を超える日本最大級の営農型太陽光発電農場を始動させる! 福島で太陽光発電農業を実践する農業者たちは口々に言う、「原発をとめるために!」と。脱原発への確かな理論と実践、被災から立ち上がる不屈の魂、そして若き農業者たちのふるさとへの思い——。原発事故11年目の今、エネルギー映画の決定版が誕生した!

樋口英明 河合弘之 近藤恵 飯田哲也 大内督 落合恵子(クレヨンハウス)

監督・脚本:小原浩靖「日本人の忘れもの フィリピンと中国の残留邦人」  
音楽:吉野裕司(Music studio Ram) | 企画:河合弘之 飯田哲也 小原浩靖  
製作:河合弘之「日本と原発」「日本と再生」  
主題歌「素速き戦士」歌:白崎映美(上々颱風・東北6県ろ〜るショー!!)  
配給・宣伝:Kプロジェクト(株)ENTER the DEE  
2022年/日本/カラー/ビスタ/5.1ch/92分/©Kプロジェクト

Official site  
saibancho-movie.com

twitter  
@saibancho\_movie

Facebook  
@saibancho2022



新型コロナウイルス感染症対策のため、ご来場の際は、マスクの着用と手指の消毒、検温、連絡先の確認等にご協力をお願いします。感染状況によっては直前でも中止になる場合がありますので、えねみら・とっりのブログにてご確認ください。

<https://blog.canpan.info/enemirabird/>

会場は、21号線の高架下です。駐車場が満車の場合、お近くの有料駐車場をご利用ください。

